

日 時：2026 年〔令和 8 年〕7 月 13 日

参 加 者：岡村眞由美・岡村繁雄 他 2 名

行 程：ウイスター〔レンタカー〕⇒ ジョフリー・レイク駐車場 → ロウワー・ジョフリー湖 → ミドル・ジョフリー湖 → アッパー・ジョフリー湖
→ ミドル・ジョフリー湖 → ロウワー・ジョフリー湖 → ジョフリー・レイク駐車場〔レンタカー〕⇒ ウイスター

行動時間：4 時間 50 分

ジョフリー・レイクについては、ガイドブックで事前に予約が必要であることを確認していた。

予約は BC Parks の公式サイトから「Day Use Pass」を取得する必要がある、1 回の予約で最大 4 人まで。しかも、訪問日の 2 日前、午前 7 時からオンラインで予約が始まるため、人気の時期にはパソコンの前に張り付いて予約を取らなければならない。

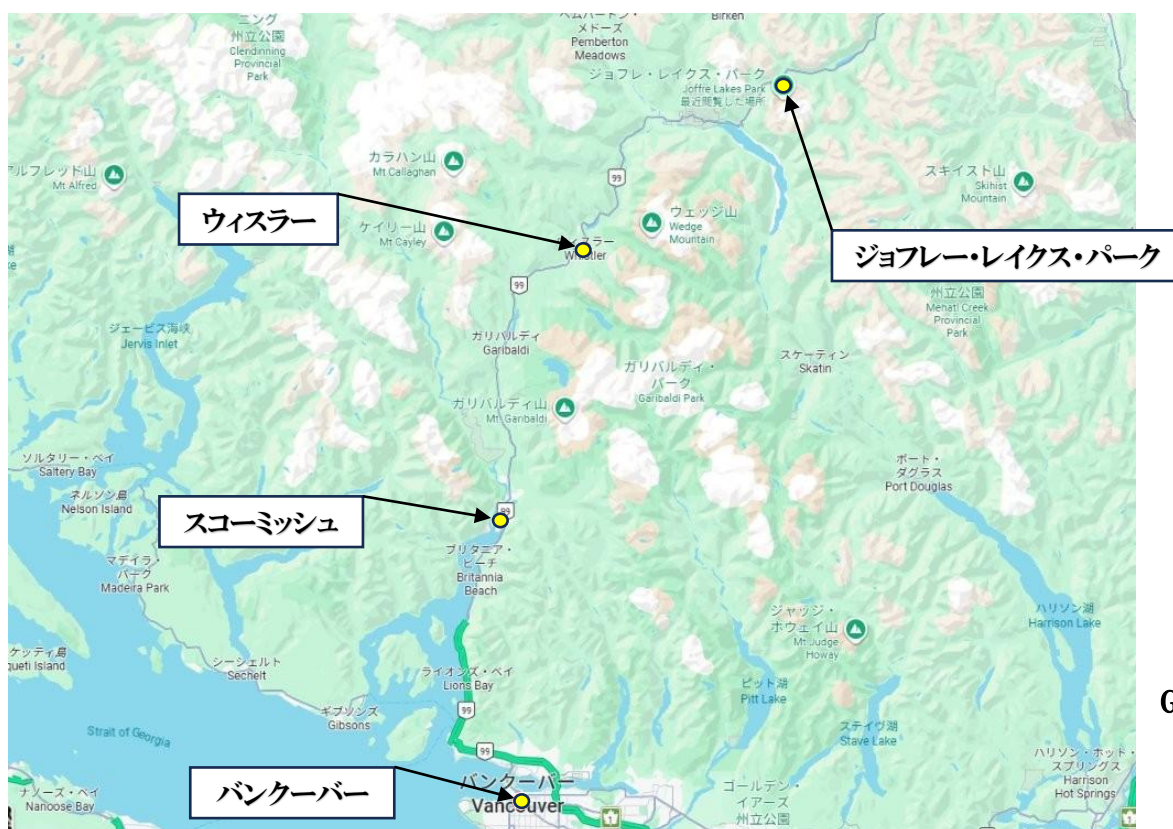
当然、私にはとても手に負えないため、キャンモアの B&B モナークの小川さんに事前に相談し、有償で予約をお願いすることにした。

7 月 13 日(月)に行くには、11 日(土)午前 7 時からの予約が必要だった。しかし、この日はカルガリーからバンクーバーへの移動日で、B&B モナークを午前 8 時に出発する予定。出発準備で慌ただしくしている最中、小川さんから「ジョフリー・レイクの予約、取れました」と連絡が入った。

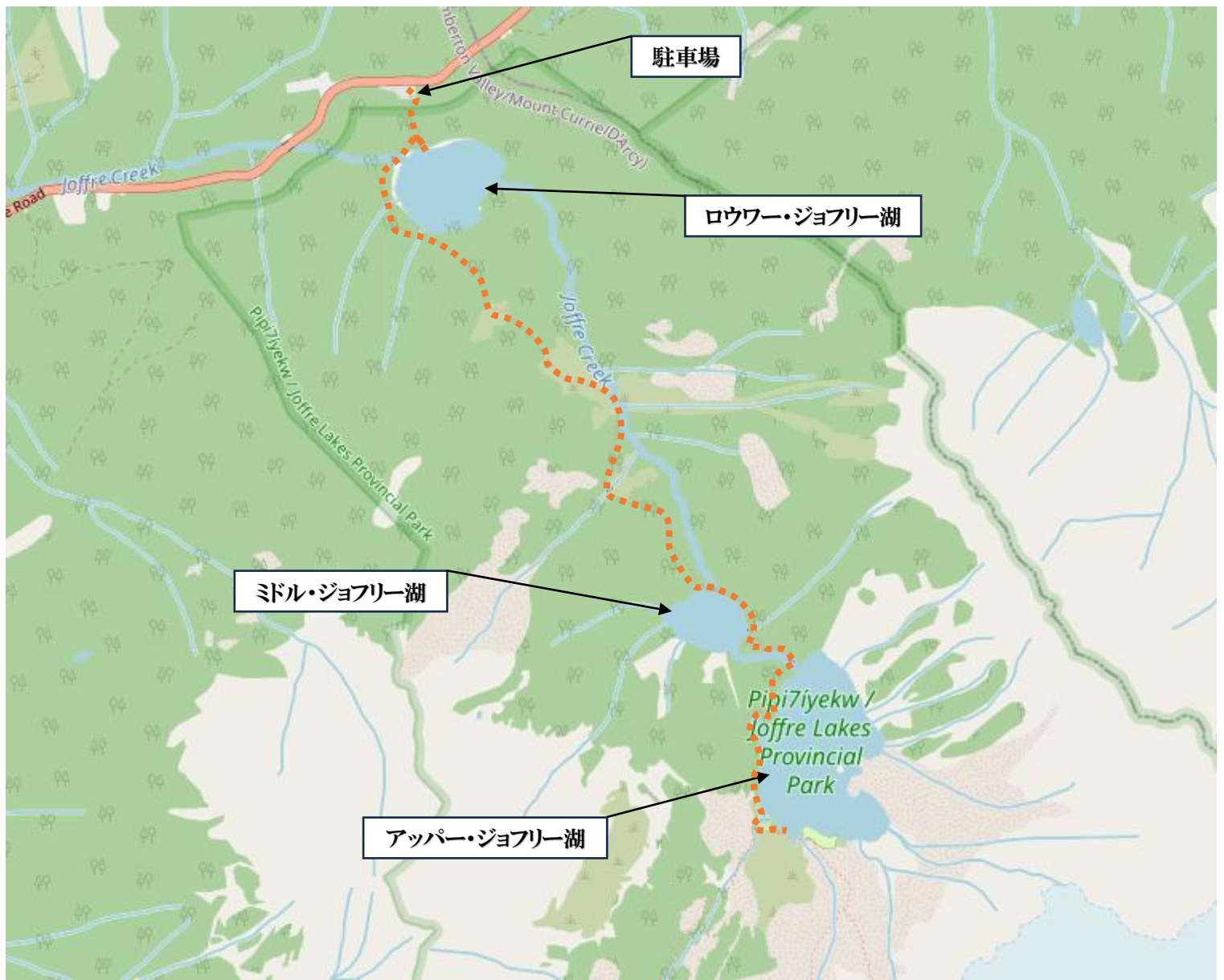
思わず「やった！」という気持ちになり、小川さんには感謝、感謝である。これで安心してジョフリー・レイクへ向かうことができた。

後日、アッパー・ジョフリー湖で、バンクーバー在住の日本人女性二人組のハイカーと話す機会があった。「この入山予約、よく取れましたね」と驚かれた。彼女たちは日帰りの予約がなかなか取れなかったため、アッパー・ジョフリー湖の奥にあるキャンプ場の予約を取り、前日はそこで宿泊したとのことであった。

また、入口の係員の話では、1 日の入山者数は約 500 人とのことだった。私たちが 13 時過ぎに下山して駐車場に戻ったころには、駐車場もかなり埋まっていた。



Google マップより



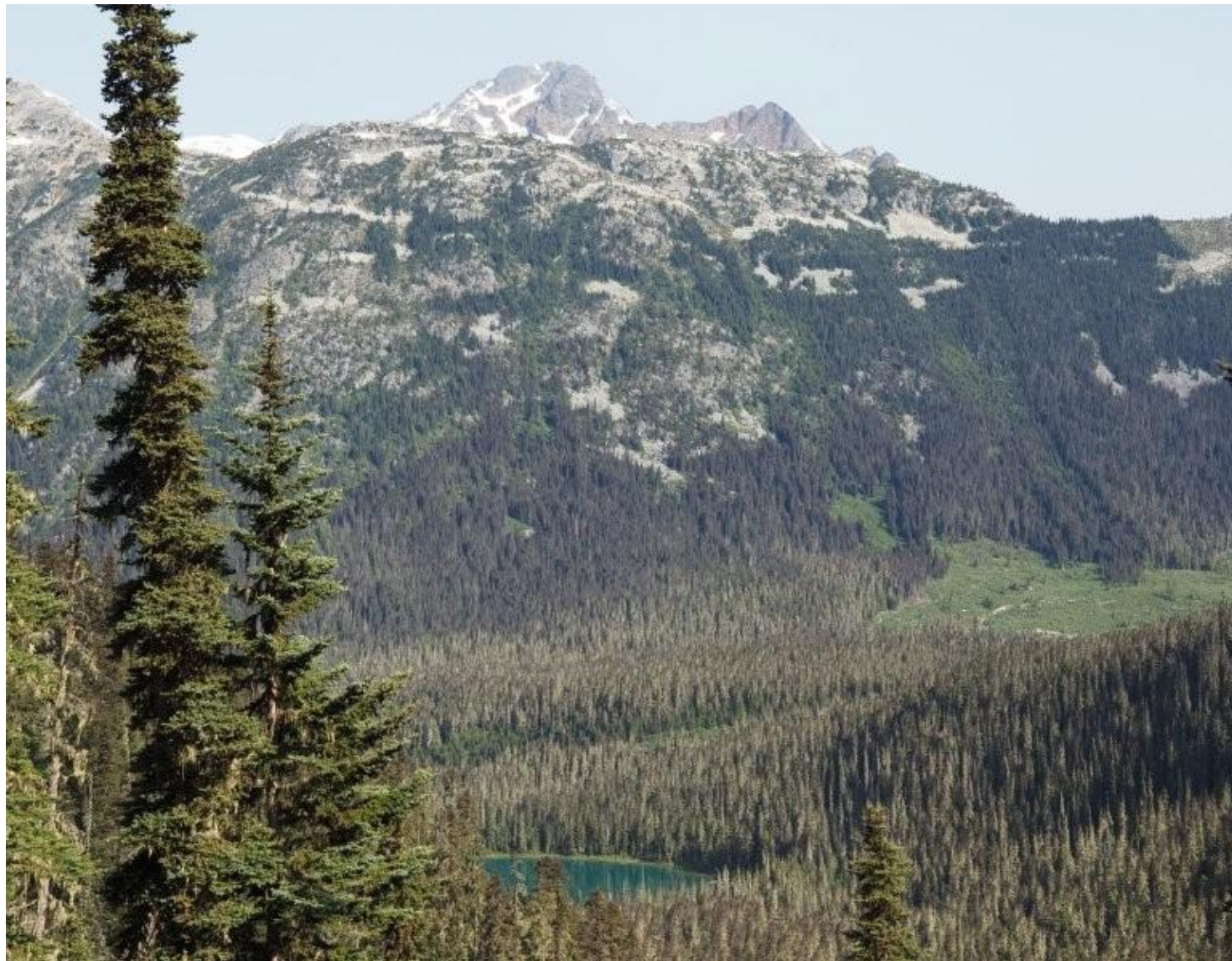
OpenTopoMap org より [..... 今回のコース]



ロウワー・ジョフリー湖 (Lower Joffre Lake)



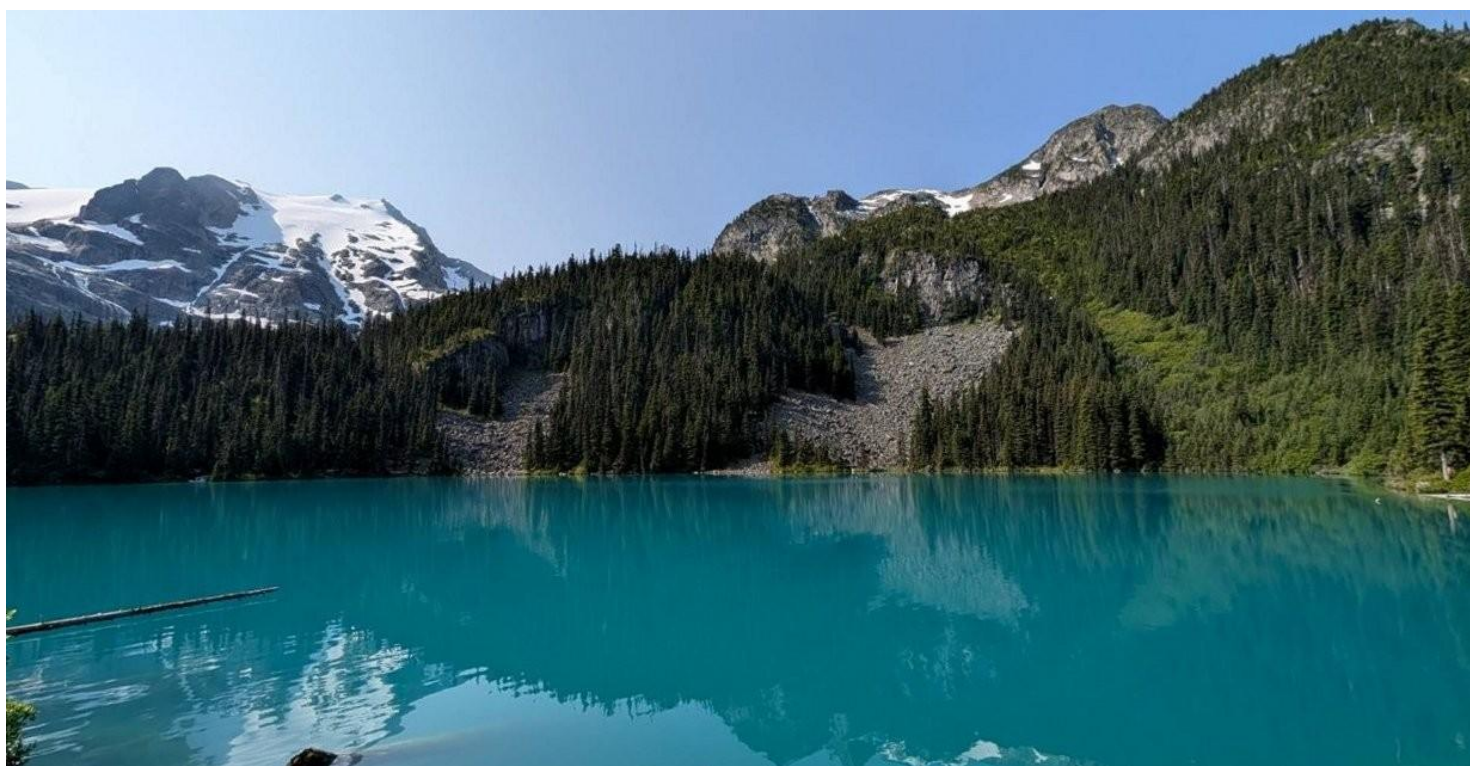




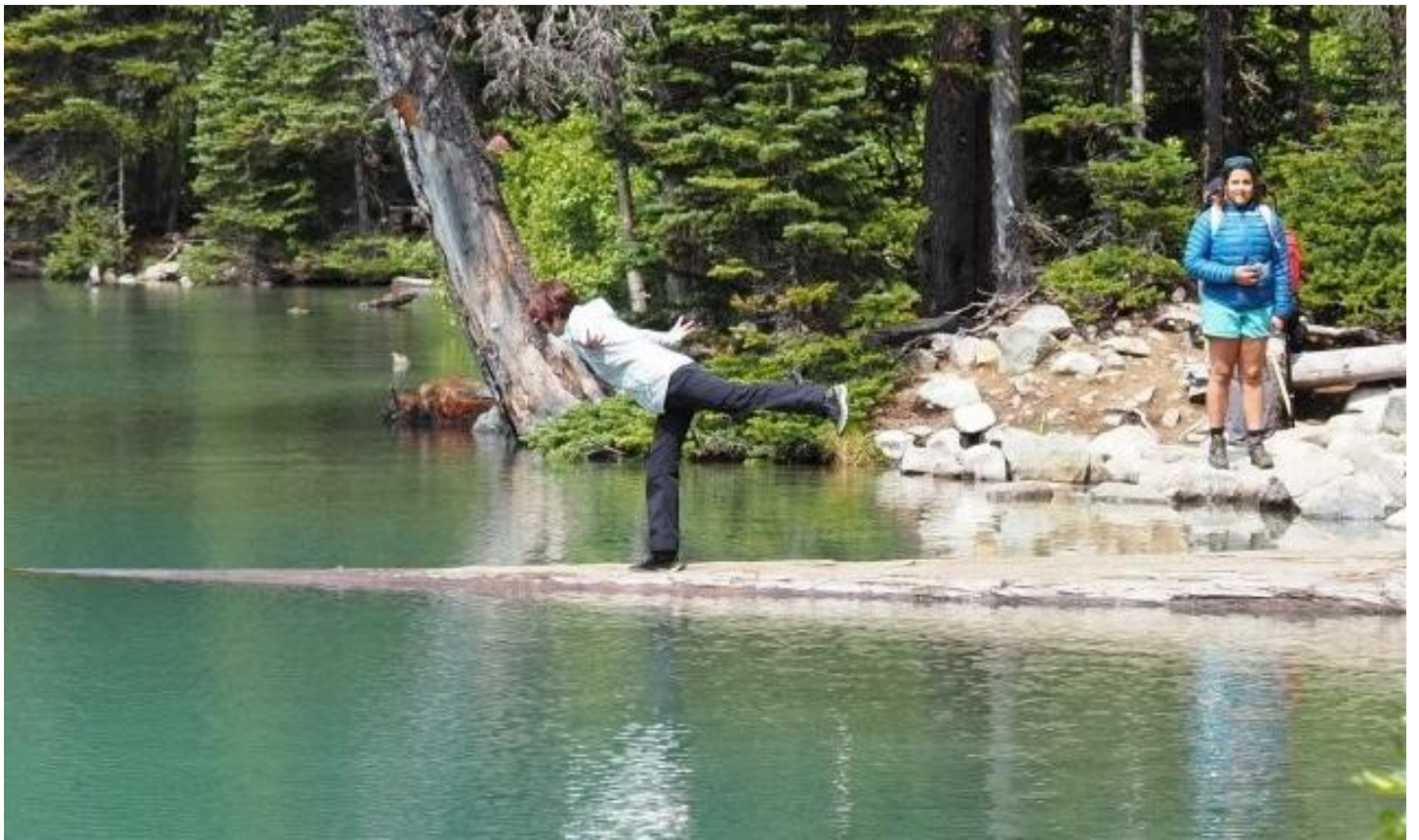
ロウワー・ジョフリー湖からミドル・ジョフリー湖への登りの中間地点よりロウワー・ジョフリー湖を望む

ロウワー・ジョフリー湖からミドル・ジョフリー湖へ向かう道は、次第に傾斜が増してくる。

登りの途中で振り返ると、木々の間からロウワー・ジョフリー湖が眼下に見え、その美しい湖面が印象的だった。



ミドル・ジョフリー湖 (Middle Joffre Lake)



倒木の上で思い思いのポーズで写真撮影

しばらく登るとミドル・ジョフリー湖に到着する。湖畔に出ると、目の前にエメラルドブルーの湖面が広がり、周囲の山々と相まって素晴らしい景観である。

ミドル・ジョフリー湖の展望を満喫した後、アッパー・ジョフリー湖へ向かって湖畔を少し進むと、ガイドブックやインターネットの写真でもよく紹介されている、湖に突き出した倒木が現れた。この倒木の上は絶好の記念撮影スポットになっていて、多くのハイカーが順番を待ちながら、思い思いのポーズで写真を撮っていた。

下山時には、さらに驚くような出来事があった。

女性グループの一人が、なんとビキニ姿になって倒木の先から湖へダイビング。勢いよく湖に飛び込み、泳いで岸へ戻ってきた。

周囲で見ていたハイカーたちからは拍手喝采。私も慌ててカメラを構えたが、飛び込む瞬間には間に合わず、残念ながら撮影できたのは岸へ泳いで戻ってくるところだけだった。

その後、女性たちは飛び込んだ女性と一緒に、すぐそばのトイレへ駆け込んでいった。何とも大胆なパフォーマンスで、今でも印象に残っている。



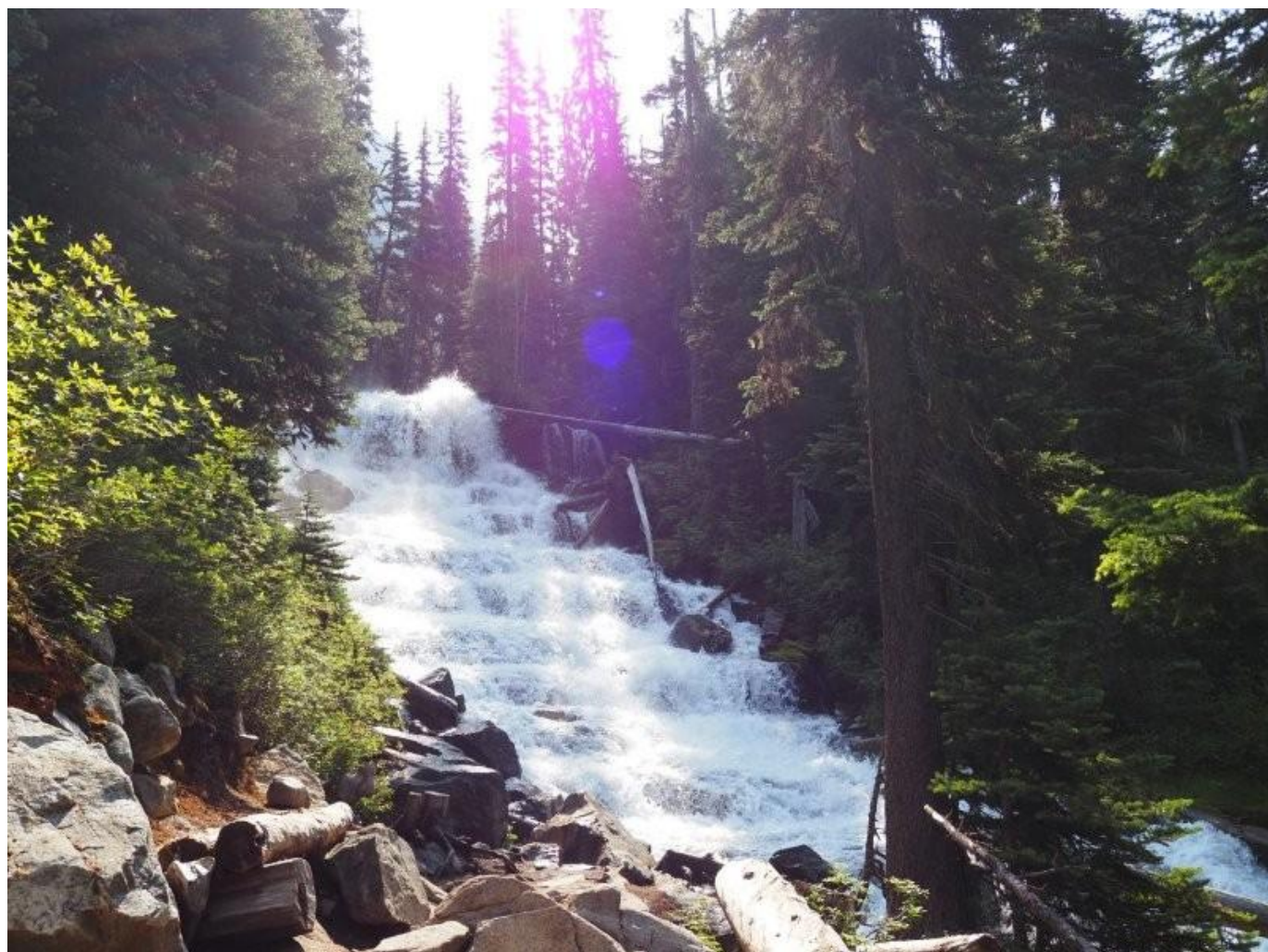
ミドル・ジョフリー湖の倒木



飛び込んだ後 岸に泳いで戻る女性



別の場所から見たミドル・ジョフリー湖



ミドル・ジョフリー湖とアッパー・ジョフリー湖の中頃にある、水路が滝状になった場所



アッパー・ジョフリー湖 (Upper Joffre Lake) 入り口付近での風景

ミドル・ジョフリー湖とアッパー・ジョフリー湖の間付近には、水路が滝状になって流れ落ちている場所があり、かなりの水量でなかなか迫力があつた。

さらに進むと、アッパー・ジョフリー湖の入口付近に到着する。



アッパー・ジョフリー湖畔よりマティエ氷河を望む



マティエ氷河〔望遠〕



アッパー・ジョフリー湖北側の湖畔でマティエ氷河が目に見える休憩場所



カナダカケス (Parks Canada)



アッパー・ジョフリー湖南側の休息した湖畔より 北側の休憩場所を望む



ジョフリー・レイク・トレイルの入り口で取得した QR コードを提示して入る

アッパー・ジョフリー湖は、三つの湖の中でも特に雄大な景観が広がっている。湖の向こうには山々が連なり、その奥にはマティエ氷河 (Matier Glacier) が姿を見せている。

アッパー・ジョフリー湖の北側の湖畔まで進むと、マティエ氷河を目の前に望むことのできる絶好の休憩場所がある。

湖と氷河を眺めながら、しばらく休憩をとる。

一方、今回のトレイルの終点はアッパー・ジョフリー湖南側の湖畔である。ここで昼食を兼ねて休憩していると、思いがけないハプニングが起こった。

溝尾氏が膝の上にサンドイッチを置いて食べていたところ、ほんの一瞬、目を離した隙にカナダカケスが急降下してきた。そして、膝に置いていたサンドイッチを一瞬のうちにつかんで飛び去ってしまった。

あまりにも突然の出来事で、一同びっくり。トレイルの途中には「鳥や動物には餌を与えないように」との掲示があったが、今回は餌を与えたわけではなく、カナダカケスのほうから一瞬の隙を狙って奪っていったのだから、こればかりはどうしようもない。

昼食後、アッパー・ジョフリー湖を後にして、来た道をミドル・ジョフリー湖、ロウワー・ジョフリー湖へと戻る。

ジョフリー・レイク・トレイルは、ロウワー、ミドル、アッパーの三つの湖を巡るコースで、距離はそれほど長くないものの、湖ごとに異なる景観を楽しむことができる。

家族連れや若いハイカーも多く、登山というよりはハイキングに近い雰囲気、歩きやすく人気の高いコースであることを実感した。

特に、エメラルドブルーの湖面を持つミドル・ジョフリー湖と、その奥にマティエ氷河を望むアッパー・ジョフリー湖の景観は素晴らしく、予約を取るのが難しいのも納得できる。

今回、予約を取るところから始まり、三つの湖とマティエ氷河を巡り、最後にはカナダカケスにサンドイッチまで奪われるというハプニングもあった。

いろいろな意味で、思い出に残るジョフリー・レイク・トレイルとなった。